

■ **鈴木梅四郎** **社会運動家，政党政治家。明治天皇詔に触発され，医療の社会化の実践を先駆し，医業国営論を提唱。**

すずきうめしろう

生麦事件・・1862＝長野県水内郡安茂里村(長野市)で，鈴木竜蔵の次男に生まれる。

明治維新・・1868＝6歳：

廃藩置県・・1871＝**9歳**：

明治6年政変 1873＝11歳：

・・・・・1880＝**18歳**：

明治14年政変1881＝19歳：

慶応義塾に入って，福沢諭吉に認められ，

国民之友始・1887＝25歳：卒業し，中上川彦次郎が社長務める{時事新報}に入社。

帝国憲法発布1889＝**27歳**：

大津事件・・1891＝29歳：福沢の推薦で，横浜貿易組合顧問となり，機関紙{横浜貿易新聞}主筆となる。

日清戦争始・1894＝32歳：三井銀行の大改革に着手した中上川に招かれて，入行。

子規句歌革新1898＝**36歳**：

各支店長などを務めるうち，

教科書疑獄・1902＝40歳：請われて，王子製紙専務取締役役に就任，

同社の土台を築く上で大きな貢献をし，

日露戦争終・1905＝43歳：

韓国反日暴動1907＝**45歳**：

大逆事件判決1911＝49歳：

***明治天皇による「施薬救療の大詔」に触発され，貧困者への救療でなく無産者への防貧に主眼をおき，実費**
というように庶民が低廉な医療費負担で受診・受療できることを目的として，同年に医師加藤時次郎が計画
した実費診療所の設立に参加し理事長に就任した。この診療所の開設によって庶民の経済的理由からの受診
の困難を解決することになる。支部を次々展開するうち，各地の医師会から執拗な妨害工作を受け，

明治天皇没・1912＝50歳：

***政治的に対応すべく，衆議院議員に立候補して当選。立憲国民党に入る。**

民本主義・・1916＝**54歳**：

加藤と訣別した後も実践を続け，

ロシア革命・1917＝55歳：

立憲国民党幹事長に就任。

本格政党内閣1918＝56歳：

「皇室社会新政」，

大正11年条約・1919＝57歳：

「日本に於ける社会政策の基礎」。この頃から，地方自治体運営の実費診療所が増え始め，
「医療の社会化運動」，

原敬首相暗殺1921＝59歳：

日本資本主義の発展のなかでの政財界の指導者に位置づけられ，その信条は自由主義であったのに，かかる
実践と提唱へ彼をみちびいたのは，医業こそは公共的使命にあるべきだとの信念で，それを支えたのは彼の
王子製紙時代の労務管理と後日の彼自身の結核療養とによると考えられる。

治安維持法・1925＝**63歳**：

円本時代始・1926＝64歳：

「社団法人実費診療所の歴史及事業」，

この間，健康保険法の矛盾を厳しく指摘してきたが，

共産党事件・1928＝66歳：

***「医業国営論」を著し，医療国営論を提唱するに至る。**

世界恐慌・・1929＝67歳：

地方自治体運営の実費診療所が41箇所になり，

満州事変・・1931＝69歳：

国際連盟脱退1933＝71歳：

歳末無料診療を試みるなど，

帝人疑獄事件1934＝**72歳**：

日中戦争始・1937＝75歳：

産業組合の医療利用組合を中心とする一連の医療の社会化運動の先駆となったが，

大政翼賛会・1940＝78歳：急性肺炎のため，没した。